

講演会

麻布を舞台とした小説 「霞保育園で待っています」 から読み解く麻布の魅力

2020年に出版された麻海晶の小説「霞保育園で待っています」は麻布のまちを舞台としています。今回、作者本人が、小説の背景や麻布の街との関わりなどについてお話しします。

また、これまで麻布地区の歴史・文化等について、研究活動やまち歩きを通じて知識を深めてきた「あざぶ達人ラボ」の活動報告も行います。今回は、小説に出てくるスポットを落とした地図を使って報告します。

◆とき 3月18日(土)午後2時～4時 (午後1時30分開場)

◆ところ 麻布区民センター地下一階 区民ホール (港区六本木5-16-45)

◆人数 120人(申し込み順) ◆費用 無料

◆講師 麻海晶氏(小説家)

◆申込 みなとコール ☎5472-3710

電話で、3月10日(金)まで
(受付時間 午前9時～午後5時)

講師 麻海晶 小説家。東京都出身。現在、都内研究機関で執筆活動中。「自治体・公共サービスの現場お仕事シリーズ」第一弾として「霞保育園で待っています」を発表。2022年続編の「今日を運ぶ」を上梓。



麻布で紡ぐ物語
「霞保育園で待っています」



麻海晶
Asami Akira